

# 横浜市 麻しん流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

## 横浜市内で麻しんの発生が続いています

### 【2025年第11週(3月10日～3月16日)までの概況】

- ✓ 横浜市内では、第11週に1件の報告があり、2025年の累計は5件です。
- ✓ 3例は海外渡航歴があり、2件は国内感染です。
- ✓ 麻しんは感染力が強く、手洗い・マスクのみでは予防できません<sup>※1</sup>。
- ✓ 予防には、ワクチン接種が最も有効です<sup>※1</sup>。

※1 [厚生労働省 麻しんについて](#)

#### 【麻しんとは?】

麻しんウイルスによる感染です。感染力が非常に強く、免疫をもっていない人が感染するとほぼ100%発症します。空気感染をするため、同じ空間にいただけで感染することがあります。症状は発熱、咳・鼻水・結膜充血(カタル症状)、口腔内の白い斑点(コプリック斑)、発疹です。発しんは耳後部→頸部→顔→体幹→上肢→下肢の順に現れます。肺炎や脳炎を合併すると、重症化することがあり注意が必要です。最も有効な予防方法は、2回<sup>※2</sup>のワクチン接種です。麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を確実に接種しましょう。

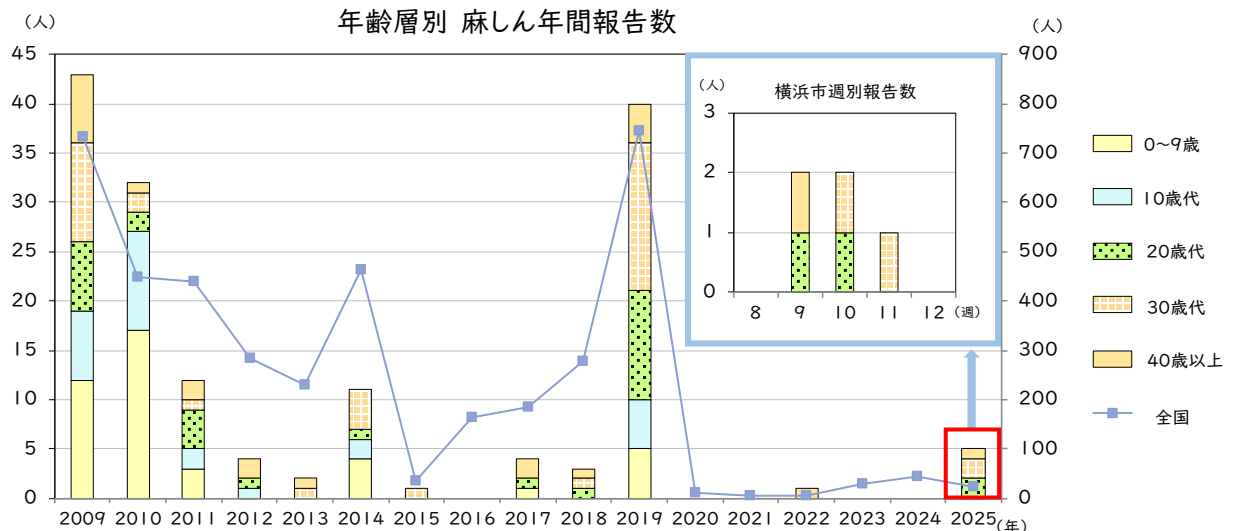


※2 I期:生後12～24カ月、II期:小学校就学前1年間(5歳以上～7歳未満)

#### 【流行状況】

国内では第10週(3月3日～3月9日)に兵庫県4件、神奈川県<sup>※3</sup>・山口県で各2件、茨城県・千葉県・岐阜県・奈良県で各1例の報告があり、第10週までの累計報告数は22件です。横浜市内では、第9週に2件、第10週に2件、第11週に1件報告されています。

※3 神奈川県2例は、横浜市を含む



【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課  
横浜市医療局健康安全課

TEL 045(370)9237  
TEL 045(671)2463